

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	JAFLO西広島	事業所番号	3410215234
住 所	広島市西区己斐本町1-5-8	管理者名	岡山悦子
電話番号	082-208-0970	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 天満町4-1、中広町1-2-12、東白島7-5</p> <p>実施日程 令和5年4月1日~令和6年3月30日</p> <p>利用者 15名</p> <p>実施した生産活動 弁当の盛付け、まぜそば店による調理補助、縫製作業、芋けんぴ製造、ハンバーグ製造、うなぎ製造</p>	<p><活動の様子></p>  <p>中広1-2-12</p> <p>天満町4-1</p>
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい 地域、企業、商店など、お互いにふれ合う機会ができる</p> <p>地域にとってのメリット 潜在的な顧客層の獲得にも繋がり、人の流れができる</p> <p>対象者にとってのメリット 生活圏外に出かける機会が増すため、視野が広がる</p>	 <p>すき焼き弁当</p> <p>まぜそば</p>
<p><成果></p> <p>実施した結果 対顧客という職場で、他者への貢献、社会への貢献が目に見える形で、利用者の実感を得やすく、より一般へのステップアップの場を作りやすい。</p> <p>得られた成果 3名一般就労移行できた。</p> <p>課題点 一般就労移行した後の意識の維持と、対人関係を1から構築することの難しさを、本人にどこまで教えることができるかが課題。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

さらなる生産性の向上が課題となる。作業を細分化し、請負が可能な作業のみを委託するため、手間が増える場面が目立つ。職業指導員との協議を定期的に行い、双方にとってより良い環境作りと仕組み作りが必要。利益率改善のための施策を提案。より一般就労に近い環境を作り、本番さながらの訓練を行えるので、利用者本人にとっては非常にいい経験を積める。

今後の連携強化に向けた課題

連携を強化するためには、職業指導員と頻繁に協議し、お互いの問題点を提起する事。またその問題点を1つ1つ潰していく。時間を要するため、そのためのコミュニケーションの時間をどのように設けることができるかが課題。委託先企業、事業所、利用者の三方吉の企画を提案し、合意形成を得るまでのハードルが高いため、お互いがある程度の妥協点を持つこと。

連携先企業名	合同会社ユイツムニ、有限会社ユニークアーティクル ジャパン、株式会社尾道ファーム、アグリロード	担当者名	高橋
--------	---	------	----